

資料 3

第2回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成26年2月4日

平成26年度仁淀川地域アクション プランの追加、拡充、削除項目等

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H25年度 236 → H26年度 245 (+9)

地 域	H25年度	H26年度		
	AP数 H25.12時点	追 加	削 除	AP数
安芸	30	6	▲2 (統合)	34
物部川	24	0	0	24
高知市	32	0	0	32
嶺 北	28	0	0	28
仁淀川	38	0	▲2 (統合)	36
高 橋	42	5	▲1	46
幡 多	42	4	▲1	45
合 計	236	15	▲6	245

平成26年度 仁淀川地域アクションプラン（案）項目対比表

【仁淀川地域】

No.	現在(平成25年度)	土佐市 いの町 仁淀川町 佐川町 越知町 日高村						
			12	12	10	12	8	15
1	仁淀川流域茶の生産から販売までの一貫体制の強化による販売額の向上	● ● ● ● ● ●						
2	地域を支える基幹品目の振興	● ● ● ● ● ●						
3	薬用作物の产地拡大による所得の向上	● ● ● ● ● ●						
4	力強い高糖度トマト産地の確立	● ● ● ● ●						
5	JAとさし園芸産地ビジョン実現に向けた取組の推進と販売体制の強化	●						
6	加工用ワサビの加工の促進	●						
7	土佐文旦の加工	●						
8	生姜の加工(生姜出荷施設整備事業)	●						
9	いの地域における園芸産地の維持・発展	●						
10	集落営農の推進	●						
11	本川さじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発	●						
12	農業振興ネットワークの構築による地域の活性化					●		
13	仁淀川流域における木材産業の振興	● ● ● ● ● ●						
14	特用林産物の販売拡大	● ● ● ● ● ●						
15	うるめのブランド化	●						
16	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	● ●						
17	高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興	●						
18	いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化	●						
19	地域产品を活用した冷菓等の製造販売	●						
20	鰐フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進	●						
21	売れる商品づくりによる地産外商の推進		●					
22	企業進出による雇用の増と地元企業の活性化				●			
23	地元企業の活性化(芋菓子加工販売拡大事業)				●			
24	企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)				●			
25	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	● ● ● ● ● ●						
26	仁淀川流域を中心としたジオパークへの取組による交流人口の拡大		● ● ● ● ●					
27	集客施設の整備による新居地区の活性化	●						
28	体験型観光・食観光の推進	●						
29	体験型観光の推進と地域資源を活かした特产品づくり	●						
30	山岳資源を活用した交流人口の拡大	●						
31	観光情報の一元化とおもてなし観光の推進		●					
32	歴史的風致維持向上計画の推進			●				
33	佐川町における知的体験型観光の推進			●				
34	佐川町収蔵資料を活用した地域の活性化			●				
35	越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進				●			
36	直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化				●			
37	屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化					●		
38	国宝を活用した観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化					●		

No.	改定案(平成26年度)	土佐市 いの町 仁淀川町 佐川町 越知町 日高村						
			12	12	10	10	8	15
1	仁淀川流域茶の生産から販売までの一貫体制の強化による販売額の向上	● ● ● ● ● ●						
2	地域を支える基幹品目の振興	● ● ● ● ● ●						
3	薬用作物の产地拡大による所得の向上	● ● ● ● ● ●						
4	力強い高糖度トマト産地の確立	● ● ● ● ●						
5	JAとさし園芸産地ビジョン実現に向けた取組の推進と販売体制の強化	●						
6	加工用ワサビの加工の促進	●						
7	土佐文旦の加工	●						
8	生姜の加工(生姜出荷施設整備事業)	●						
9	いの地域における園芸産地の維持・発展	●						
10	集落営農の推進	●						
11	本川さじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発	●						
12	農業振興ネットワークの構築による地域の活性化		●					
13	仁淀川流域における木材産業の振興	● ● ● ● ● ●						
14	特用林産物の販売拡大	● ● ● ● ● ●						
15	うるめのブランド化	●						
16	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	● ●						
17	集客施設を核にした高岡地区的活性化	●						
18	いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化	●						
19	地域产品を活用した冷菓等の製造販売	●						
20	鰐フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進	●						
21	売れる商品づくりによる地産外商の推進	●						
22	企業進出による雇用の増と地元企業の活性化		●					
23	地元企業の活性化(芋菓子加工販売拡大事業)		●					
24	企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)		●					
25	直販市の機能強化(生産・出荷の拡大及び観光情報発信等)による地域の活性化	● ● ● ● ● ●						
26	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	● ● ● ● ● ●						
27	仁淀川流域を中心としたジオパークへの取組による交流人口の拡大	● ● ● ● ●						
28	集客施設の整備による新居地区的活性化	●						
29	体験型観光・食観光の推進	●						
30	体験型観光の推進と地域資源を活かした特产品づくり	●						
31	山岳資源を活用した交流人口の拡大	●						
32	観光情報の一元化とおもてなし観光の推進		●					
33	歴史的風致維持向上計画の推進		●					
34	越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進		●					
35	屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化		●					
36	国宝を活用した観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化		●					

名称変更

追加

名称変更

統合

仁淀川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■その他(拡充、統合)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No. 21 売れる商品づくりによる地産外商の推進（佐川町） 【実施主体】佐川町、JAコスモス、佐川町商工会、企画本舗さかわ屋、地元酒造会社、地元乳業者、地元加工業者、黒岩じるし、地元酪農家 など</p>	<p>【拡充】平成 21 年度から「さかわの地乳」のブランド化や地乳を使った加工品の商品化に重点を置いて進めてきたが、新たに佐川町の農産物を活用した加工品づくりにも取り組むこととし、プランの内容を拡充する。</p>
2	<p>No. 32 歴史的風致維持向上計画の推進(佐川町) 【実施主体】佐川町</p> <p>No. 33 佐川町における知的体験型観光の推進（佐川町） 【実施主体】佐川町</p> <p>No. 34 佐川町収蔵資料を活用した地域の活性化（佐川町） 【実施主体】佐川町</p>	<p>【統合】平成 21・22 年度に、国庫補助事業である「歴史的環境形成総合支援事業」を活用し、佐川文庫庫舎（旧青山文庫）の上町地区への移築や、景観を損なっている建物を取り壊して小公園の整備を行うなど、古い町並みを活用した観光資源の整備に着手した。</p> <p>平成 24 年度には、国庫補助事業である「街並み環境整備事業」を活用し、牧野富太郎博士の生家跡に「牧野富太郎ふるさと館」を整備、さらに、平成 25 年度には、旧酒蔵商家の浜口家住宅をリニューアルして、観光客のお立ち寄り処やさかわ観光協会の活動拠点となる「浜口邸」がオープンした。</p> <p>現在、藩政時代に家臣の子息の学びの場であった「名教館」を移築、改修する工事の施工中であり、年度末には完成の予定となっている。</p> <p>このように、古い町並みの残る佐川町上町地区でのハード整備が進んできたことから、個別の地域アクションプランとして位置付けしていたものを「歴史的風致維持向上計画の推進」に統合して、NPO 法人佐川くろがねの会による町並みガイドや、佐川町の歴史や文化を学ぶ場としての名教館の活用など、ハードとソフトが一体となった観光振興の取組を進める。</p>

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			実施	課題	
21 売れる商品づくりによる地産外商の推進 《佐川町》	佐川町において、地元民間企業の商品の販売促進や、一次産品を使った特長のある商品づくりにより、地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・佐川町商工会 ・企画本舗さかわ屋 ・地元酒造会社 ・地元乳業者 ・地元加工業者 ・黒岩じるし ・地元酪農家 など	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産品による売れる商品づくり(H21~H23) ◆平成21年度から酪農家を含めた農商工連携組織である地乳プロジェクト会を設置し、地元産の牛乳を使った商品づくりの取組を進めた。 平成22年度には、「さかわの地乳」のブランド化や地乳を使った加工品シリーズの商品化を図り、そのPR・販売促進に取り組んだ。 平成23年度には、地元の自主的な活動が活発化し、生乳出荷も増加し、酪農家の所得も上がってきた。また、地乳加工品も増え、加工業者の所得向上や地域への経済波及効果も見込まれる。 ◆県内量販店との販売取組も進み、今後の展開によっては、生産者・加工業者の所得が更に向上し、地域への経済波及効果が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さかわの地乳」シリーズ商品の管理、「地乳」商標管理を含めた組織の確立と体制の強化 ・酪農家への直接収入化となる取組の実施 ・「さかわの地乳」の牛乳、加工品等の販売ルートの確立 	<p>◆製乳施設整備</p> <p>◆地乳加工施設整備</p> <p>◆加工品生産及び販売促進体制づくり</p>

修正前

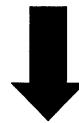


【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 売れる商品づくりによる地産外商の推進 《佐川町》	佐川町において、地元民間企業の商品の販売促進や、一次産品を使った特長のある商品づくりにより、地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・佐川町商工会 ・企画本舗さかわ屋 ・地元酒造会社 ・地元乳業者 ・地元加工業者 ・黒岩じるし ・地元酪農家 など	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産品による売れる商品づくり(H21~H23) ◆平成21年度から酪農家を含めた農商工連携組織である地乳プロジェクト会を設置し、地元産の牛乳を使った商品づくりの取組を進めた。 平成22年度には、「さかわの地乳」のブランド化や地乳を使った加工品シリーズの商品化を図り、そのPR・販売促進に取り組んだ。 平成23年度には、地元の自主的な活動が活発化し、生乳出荷も増加し、酪農家の所得も上がってきた。 ・平成24年度には、県内量販店との販売取組も進み、販促イベントも随時行った。 今後の展開によっては、生産者・加工業者の所得が更に向上し、地域への経済波及効果が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さかわの地乳」シリーズ商品の管理、「地乳」商標管理を含めた組織の確立と体制の強化 ・酪農家への直接収入化となる取組の実施 ・「さかわの地乳」の牛乳、加工品等の販売ルートの確立 	<p>◆製乳施設整備</p> <p>◆地乳加工施設整備</p> <p>◆加工品生産及び販売促進体制づくり</p> <p>◆地元農産物等を使った加工品の開発販売</p>

修正後

第2期計画				H27	H28以降	指標及び目標
H24	H25	H26				指標 目標値(H27)
製乳施設整備			→			生乳出荷量の拡大 (H21:240t) (H22:260t)
			製乳施設の整備			480t
地乳加工施設整備			→			
			各加工業者の加工施設の整備			
加工品生産及び販売促進体制づくり			→			
			地乳ブランドのための製乳及び加工品の販売促進活動による消費拡大			
			販促管理・商標管理等の組織の構築			



第2期計画				H27	H28以降	指標及び目標
H24	H25	H26				指標 目標値(H27)
製乳施設整備			→			生乳出荷量の拡大 (H21:240t) (H22:260t)
			製乳施設の整備			480t
地乳加工施設整備			→			
			各加工業者の加工施設の整備			
加工品生産及び販売促進体制づくり			→			
			地乳ブランドのための製乳及び加工品の販売促進活動による消費拡大			
			販促管理・商標管理等の組織の構築			
					地元農産物等を使った加工品の開発販売	
					地元農産物を使った商品の開発・販売	

統合項目(案)

【仁淀川地域】

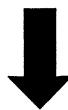
項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			説明	課題	
32 歴史的風致維持向上計画の推進 《佐川町》	「文教のまち」佐川町において、シンボル的施設である民具館や歴史的建造物、観光施設を整備することにより、一体的な歴史的風致を形成し、観光資源としての充実を図る。	・佐川町	<p>・一的な歴史的風致の形成への取組(H21~23)</p> <p>◆平成21・22年度は、歴史的風致地区において国庫補助事業「歴史的環境形成統合支援事業」を活用し、佐川文庫蔵舎(旧青山文庫)の上町への移設、量額を擴なっている建物を取り壊しての小公園整備など、観光資源としての街並み整備を行っている。</p> <p>また、ソフト事業では、ホームページやパンフレットの作成などPR的な広報活動、情報発信を行っており、イベントの開催など、地域での継続的な活動も行っており、徐々にではあるが観光客の増加がみられている。</p> <p>◆平成23年度には、国庫補助事業の見直しにより從来の事業から「街並み環境整備事業」に事業が移行しながら、取組は継続しており、平成23年度に「街並み環境整備事業計画書」を作成し、引き続き観光資源としての整備と活用を検討していくとした。地域ではNPO法人佐川くろがねの会を中心に観光資源を生かした観光ガイドの充実や商工会と連携したイベント等を図り、地域の活動が活発化の傾向にある。</p>	<p>・歴史的風致維持向上計画と整合性の取れた、街並み環境整備事業計画への取組</p> <p>・佐川町の物産販売、情報発信や地域で作り込んだ観光の提案を積極的に実施する観光組織の設立</p>	◆一的な歴史的風致の形成
33 佐川町における知的体験型観光の推進 《佐川町》	「学ぶ楽しみ・触れる楽しみ・交わる楽しみ・五感の楽しみ・大人の知的好奇心を刺激する」佐川町による観光を目指し、量より質の観光づくり取り組み、佐川町における知的体験型観光を推進し、交流人口の拡大につなげる。	・佐川町	<p>・知的体験型観光の対象拡大のための条件整備(H23)</p> <p>◆平成23年度作成の「さかわ文教・歴史のまちなみ重点地区街並み環境整備計画」と「さかわ文教・歴史のまちなみ重点地区街並み環境整備計画」の中で、「佐川学(庄子)による量より質の知的体験の観光地域づくりを検討し、知的体験ができる施設の整備・整備を進めることによって、新たな観光メニューの創出による、地域への経済効果及び地域活性化等の効果が見込まれる。</p>	<p>・歴史的風致維持向上計画と整合性の取れた、観光資源としての活用の検討</p>	◆知的体験型観光の対象拡大のための条件整備
34 佐川町収蔵資料を活用した地域の活性化 《佐川町》	佐川町には多くの個人の収蔵資料があり、特に植物学者として世界的に有名な牧野富太郎博士の収蔵本や植物園の資料が多くある。こうした収蔵資料の展示施設を整備し、施設としての充実を図り、「牧野博士」や「佐川の偉人」を活用とした文教での地域活性化を推進する。	・佐川町	<p>・牧野博士の収蔵資料の多面的な活用(H23)</p> <p>◆平成23年度に「さかわ文教・歴史のまちなみ重点地区街並み環境整備計画」「さかわ文教・歴史のまちなみ重点地区街並み環境整備計画」を策定しており、その中で、佐川町にある偉人の収蔵資料を活用、特に牧野博士の展示する施設の整備を計画しており、新たな観光メニューによる、地域への経済効果及び地域活性化等の効果が期待している。</p>	<p>・歴史的風致維持向上計画と整合性の取れた、観光資源としての活用の検討</p>	◆佐川の偉人の収蔵資料の多面的な活用



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と実績	課題	主な内容
33 歴史的風致維持向上計画の推進 《佐川町》	「文教のまち」佐川町において、シンボル的施設である民具館や歴史的建造物、観光施設を整備することにより、一体的な歴史的風致を形成し、量より質の観光づくり取り組み、佐川町における知的体験型観光を推進し、観光資源としての充実を図る。	・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地場づくり団体	<p>・一的な歴史的風致の形成への取組(H21~23)</p> <p>◆平成21・22年度は、歴史的風致地区において国庫補助事業「歴史的環境形成統合支援事業」を活用し、佐川文庫蔵舎(旧青山文庫)の上町への移設、量額を擴なっている建物を取り壊しての小公園整備など、観光資源としての街並み整備を行った。</p> <p>また、ソフト事業では、ホームページやパンフレットの作成などPR的な広報活動、情報発信を行っており、イベントの開催など、地域での継続的な活動も行っており、徐々にではあるが観光客の増加がみられている。</p> <p>◆平成23年度には、国庫補助事業の見直しにより從来の事業から「街並み環境整備事業」に事業が移行しながら、取組は継続しており、平成23年度に「街並み環境整備事業計画書」を作成し、引き続き観光資源としての整備と活用を検討していくとした。地域ではNPO法人佐川くろがねの会を中心に観光資源を生かした観光ガイドの充実や商工会と連携したイベント等を図り、地域の活動が活発化の傾向にある。</p> <p>・平成24年度には、牧野富太郎博士の生家跡に「牧野富太郎ふるさと館」がオープンした。</p> <p>・平成25年度には、旧坂口家住宅が元々、観光拠点となる「さかわ観光協会」が発足した。年度末には、「さかわ文教の町を図る」名館が完成し、観光資源としての活用が見込まれる。</p>	<p>・歴史的風致維持向上計画と整合性の取れた、街並み環境整備事業計画への取組</p> <p>・さかわ観光協会を中心とした、佐川町の物産販売、情報発信や地域で作り込んだ観光の提案を積極的に実施</p>	◆一的な歴史的風致の形成
統合後					

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
一的な歴史的風致の形成 浜口邸の整備				→	歴史的風致地区への入込客数	5,000人
牧野富太郎生家の復元整備						
歴史的風致地区へのJR客車移設						
牧野公園の整備						
風致地区的標識整備						
佐川町歴史的風致維持向上計画協議会における歴史的風致維持向上施設の審議、提言等						
佐川町物産・集客ツールの検討	佐川町物産・観光振興組織の構築					
まちの駅を中心とした風致地区的観光活性化事業の実施						
→					知的体験施設への入込客数	5,000人
知的体験型観光の魅力拡大のための条件整備 知的体験型観光のメニューづくり、施設活用方法の検討						
	名教館の移設・整備					
	牧野公園花見棧・売店棟の整備					
知的体験型観光の管理運営組織の構築						
知的体験型観光メニューの実施						
→					資料館への入込客数	5,000人
佐川の偉人の収蔵資料の多面的な活用						
施設の整備及び運営管理方法等の検討	佐川町偉人資料館の整備					
収蔵資料活用方法の検討、活用メニューの実施など						
	運営管理組織の構築					



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
一的な歴史的風致の形成 浜口邸の整備				→	歴史的風致地区への入込客数	10,000人
牧野富太郎生家の復元整備						
歴史的風致地区へのJR客車移設						
牧野公園の整備						
風致地区的標識整備						
佐川町歴史的風致維持向上計画協議会における歴史的風致維持向上施設の審議、提言等						
佐川町物産・集客ツールの検討						
まちの駅を中心とした風致地区的観光活性化事業の実施						
	名教館の移設・整備					
	牧野公園花見棧・売店棟の整備					
知的体験型観光メニューの実施						
佐川町の偉人の収蔵資料活用のための施設整備及び運営管理方法等の検討						
収蔵資料活用方法の検討、活用メニューの実施など						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			課題	課題	
17 高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興 《土佐市》	サンシャイン高岡跡地に銀光案内機館や野菜等の直販所などを整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることによって来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市商店街活性化推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の策定(H23) <ul style="list-style-type: none"> ◆集客拠点施設の整備に向け、商工会及び農協等で構成される土佐市商店街活性化推進協議会を設置し、運営等について協議し計画策定に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な運営のため、他店舗(スーパー等)との差別化 	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり

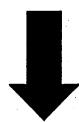
修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 集客施設を核にした高岡地区の活性化 《土佐市》	サンシャイン高岡跡地に銀光案内機館や野菜等の直販所などを整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることによって来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市商店街活性化推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の策定(H23) <ul style="list-style-type: none"> ◆集客拠点施設の整備に向け、商工会及び農協等で構成される土佐市商店街活性化推進協議会を設置し、運営等について協議し計画策定に取り組んだ。 <p>◆高岡商店街集客施設「ドラゴン広場」オープン(H25.3末プレ、H25.4正式オープン)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集客施設の安定的な運営 	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり

修正後



第2期計画					指標及び目標
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標 目標値(H27)
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり					施設直販市での販売額 70,000千円
集客施設の整備、オープン		集客施設の安定した運営			
		報光案内、情報発信			

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
25 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川流域の多様な自然や生活文化等の地域資源を基にして旅行商品化を進め、交流人口の拡大を図る。 また、全国屈指の水質を誇る仁淀川をブランドとして観光PRに活用するとともに、地域産品に仁淀川ロゴマーク用いて販売促進を図るなど、観光と他産業を組み合わせた観光産業化を推進する。	・仁淀川地域観光協議会 ・いの町観光協会 ・越知町観光協会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村			<p>◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信</p> <p>◆観光客の誘致</p> <p>◆観光資源の旅行商品化</p> <p>◆物産品開発と販売促進</p> <p>◆地域コーディネート組織の整備</p>

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川流域の多様な自然や生活文化等の地域資源を基にして旅行商品化を進め、交流人口の拡大を図る。 また、全国屈指の水質を誇る仁淀川をブランドとして観光PRに活用するとともに、地域産品に仁淀川ロゴマーク用いて販売促進を図るなど、観光と他産業を組み合わせた観光産業化を推進する。	・仁淀川地域観光協議会 ・いの町観光協会 ・越知町観光協会 ・さかわ観光協会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村	<p>・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした広域観光の推進(H22~)</p> <p>・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22)</p> <p>◆仁淀川地域観光協議会の設立以降、旅行商品の企画と旅行会社への売り込みによるツアーフェスティバル、積極的に来館者を伸ばしている。</p> <p>◆また、屋形船の運航(日高村)、や、河原でのバーベキュー(いの町)など新たな体験メニューも開始された。</p> <p>◆主要観光施設への入客数は前年比で増加しているほか、カヌーやラーティングの参加者数、ツアーフェスティバルの来館者数なども同時に増加している。</p> <p>Oツアーフェスティバル H23:30ツアーフェスティバル H24:110ツアーフェスティバル</p>	<p>・市町村や観光団体の意識の醸成</p> <p>・県版ふるさと雇用奨励金制度了後の運営財源の確保</p> <p>・ツアーフェスティバルで訪れる地域内の観光資源を振り起こし、集客的効果へつなげる</p>	<p>◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信</p> <p>◆観光客の誘致</p> <p>◆観光資源の旅行商品化</p> <p>◆物産品開発と販売促進</p> <p>◆仁淀川地域観光協議会の安定した運営に向けた取組</p>

修正後

第2期計画					指標及び目標 指標 目標値(H27)
H24	H25	H26	H27	H28以降	
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信				→	仁淀川地域観光協議会関連のツアーカー客数 (H23:500人) 730人 (年10%アップ)
地域情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)					
レベルアップや品質向上のための研修会等の実施(仁淀川地域特別情報員や各市町村担当職員を対象とした研修会、講習会の実施)					
広域観光案内(来訪や電話による相談への対応、地域のお勧め情報の提供)				→	
観光客の誘致					主要観光施設の入込数 (H19:136,380人) (H22:135,028人) 140,000人
旅行商品や観光資源等のプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)					
観光関係調査の実施(モニターツアー等によるアンケート調査の実施、指標や設定目標、効果測定のために把握する必要のある基礎数値の調査)					
観光資源の旅行商品化				→	
観光資源の発掘と磨き上げ(市町村や観光関係団体による観光資源の発掘や体験プログラム等の磨き上げ、体験プログラム実施体制の整備等)					
旅行商品化への取組(ターゲット別、テーマ別などに観光資源を組み合わせた周遊ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)				→	
物産品開発と販売促進					
地域物産品の商品開発とPR					
地域コーディネート組織の整備				→	
法人化及び観光圏整備事業導入の検討・事業計画の策定		観光圏整備事業の申請	組織強化		



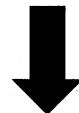
第2期計画					指標及び目標 指標 目標値(H27)
H24	H25	H26	H27	H28以降	
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信				→	仁淀川地域観光協議会関連のツアーカー客数 (H23:500人) 730人 (年10%アップ)
地域情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)					
レベルアップや品質向上のための研修会等の実施(仁淀川地域特別情報員や各市町村担当職員を対象とした研修会、講習会の実施)					
広域観光案内(来訪や電話による相談への対応、地域のお勧め情報の提供)				→	
観光客の誘致					主要観光施設の入込数 (H19:136,380人) (H22:135,028人) 140,000人
旅行商品や観光資源等のプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)					
観光関係調査の実施(モニターツアー等によるアンケート調査の実施、指標や設定目標、効果測定のために把握する必要のある基礎数値の調査)					
観光資源の旅行商品化				→	
観光資源の発掘と磨き上げ(市町村や観光関係団体による観光資源の発掘や体験プログラム等の磨き上げ、体験プログラム実施体制の整備等)					
旅行商品化への取組(ターゲット別、テーマ別などに観光資源を組み合わせた周遊ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)				→	
物産品開発と販売促進					
地域物産品の商品開発とPR					
仁淀川地域観光協議会の安定した運営に向けた取組				→	
運営財源の確保及び組織体制の検討		安定した運営の実施			

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
27 集客施設の整備による新居地区的活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興の拠点、地域情報発信基地として「南風の駅」(仮称)を整備し、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・(仮称)「企業組合土佐の夜明け」を予定	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光及び食観光の推進(H21~23) ◆地域資源を活用した観光商品づくりに取り組む中で、具体的な動きが始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の内容や運営方法、体制等の検討 	<p>◆規格外の農産物等を使ったレストランの設置</p> <p>◆仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信</p>

修正前

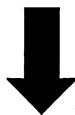


【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 集客施設の整備による新居地区的活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興の拠点、地域情報発信基地として「観光交流センター」(仮称)を整備し、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・(仮称)「企業組合土佐の夜明け」を予定	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光及び食観光の推進(H21~23) ◆地域資源を活用した観光商品づくりに取り組む中で、具体的な動きが始めた。 <p>・新居地区への新たな集客施設の整備の検討(H24~25)</p> <p>◆防災機能を備えた複合施設として整備する検討が進んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の内容や運営方法、体制等の検討 	<p>◆規格外の農産物等を使ったレストランの設置</p> <p>◆仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信</p>

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
規格外の農産物等を使ったレストランの設置	→					
「南風の駅」(仮称)整備及び運営方法の検討	「南風の駅」(仮称) オープン	→				
規格外の農産物等を使ったレストランの設置	→					
「南風の駅」(仮称)整備及び運営方法の検討	→					
仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信	→					
観光案内機能についての検討	→					
「南風の駅」(仮称)内での観光案内及び情報発信 など	→					



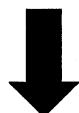
第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
規格外の農産物等を使ったレストランの設置	→					
「観光交流センター」(仮称)整備及び運営方法の検討	→					
規格外の農産物等を使ったレストランの設置	→					
「観光交流センター」(仮称)整備及び運営方法の検討	→					
仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信	→					
観光案内機能についての検討	→					
「観光交流センター」(仮称)内での観光案内及び情報発信 など	→					

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の概要等	課題	主な内容
30 山岳資源を活用した交流人口の拡大 《いの町》	「木の香温泉」を拠点とし、他の観光施設と連携して四国山地の地理的条件を活かした高地トレーニングや、山岳資源を活用した体験メニューの開発により体験型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。	・いの町 ・いの町観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー等の開発(H21~23) ◆高地トレーニングのモニター等は実施されたが、商品化までには至っていない。また、体験メニューづくりもモニターツアーを実施しているが、ウォーキングを除いて完成には至っていない。しかし、どちらも参加者には好評で商品化が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー等の商品化 ・商品化に向けての資源の掘り起こし ・売り込み先の確保 	<p>◆観光施設と連携した体験型観光の推進</p> <p>◆新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化(ダム・冬期資源)</p> <p>◆集客に向けての観光施設の検討と整備</p>

修正前

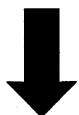


【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 山岳資源を活用した交流人口の拡大 《いの町》	「木の香温泉」を拠点とし、他の観光施設と連携して四国山地の地理的条件を活かした高地トレーニングや、山岳資源を活用した体験メニューの開発により体験型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。	・いの町 ・いの町観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー等の開発(H21~23) ◆高地トレーニングのモニター等は、実施されたが、商品化までには至っていない。また、体験メニューづくりもモニターツアーを実施しているが、ウォーキングを除いて完成には至っていない。しかし、どちらも参加者には好評で商品化が期待される。 ◆冬期資源を活用するためモニターツアーを開催し、旅行業関係者等から商品化に向けた助言を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー等の商品化 ・商品化に向けての資源の掘り起こし ・売り込み先の確保 	<p>◆観光施設と連携した体験型観光の推進</p> <p>◆新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化(ダム・冬期資源)</p> <p>◆集客に向けての観光施設の検討と整備</p>

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
観光施設と連携した体験型観光の推進 県内・県外(瀬戸内圏)への売り込み・課題の検討 木の香温泉を拠点とした体験観光の検討		商品の書き上げと商品の多様化 体験観光の試行 体験観光の商品化			本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化(タム・冬期資源) 新たに活用できる資源の検討 新たな体験メニューの検討 体験メニューの試行 体験メニューの商品化 インストラクターの養成						
集客に向けての観光施設の検討と整備 施設利用者等の調査と検証 施設整備に係る実施計画と設計 施設への集客の計画		施設の整備				



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
観光施設と連携した体験型観光の推進 県内・県外(瀬戸内圏)への売り込み・課題の検討 木の香温泉を拠点とした体験観光の検討 体験観光の試行 体験観光の商品化		商品の書き上げと商品の多様化			本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化(タム・冬期資源) 新たに活用できる資源の検討 新たな体験メニューの検討 体験メニューの試行 体験メニューの商品化 インストラクターの養成						
集客に向けての観光施設の検討と整備 施設利用者等の調査と検証 施設への集客の計画 施設整備に係る実施計画と設計		施設の整備				

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
31 観光情報の一元化とおもてなし観光の推進 《仁淀川町》	仁淀川町において、情報発信の強化や観光情報ネットワークの構築などによって、観光情報の充実を図り、滞在型観光の振興につなげる。	・仁淀川町内の観光関連団体	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報ネットワークの構築(H21~23) ・おもてなし活動の実施(H21~23) ◆情報発信力の強化や新しい観光団体、既存団体のプラッシュアップ、食観光への取組を強化してきた結果、着実に基盤力が増してきました。 また、ICT事業やインターネット事業、各種アドバイザーの活用などにより地域内外の交流が進み、地域住民が仁淀川町の観光資源とその活用に本格的に取り組むようになってきており、その活動が内面から充実してきた。その結果、平成22年度には「仁淀川町の観光を考える会」が発足し、観光資源の磨きあげ、ガイド力のアップ、着地型観光づくりやその販売手法の確立に向けて、組織的に活動が行えるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報発信の強化による効果的なPRの検討 ・ガイド養成活動の強化、仁淀川町の観光ガイドの内容調査とその整理、ツアーブルと実践 ・情報基盤の改善、既存観光施設の運営、観光案内板等の不足、地域産品の不足、観光団体の高齢化 	<p>◆観光情報の一元化</p> <p>◆観光ガイドの養成</p> <p>◆おもてなし観光の推進</p>

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 観光情報の一元化とおもてなし観光の推進 《仁淀川町》	仁淀川町において、情報発信の強化や観光情報ネットワークの構築などによって、観光情報の充実を図り、滞在型観光の振興につなげる。	・仁淀川町内の観光関連団体 ・仁淀川町	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信基地の整備 ・観光情報ネットワークの構築 ・おもてなし活動の実施 ◆町内の観光情報発信基地は整備できなかったものの、主要観光施設のHPが整備され、情報発信力が一定強化された。 ◆ガイド養成研修や観光資源調査、各種アドバイザーの招聘、インターネット事業等の活用により、お金を取れるガイドが誕生し、町内で着地型観光の必要性への理解や地域内外の交流が進んだ。地域住民が自分たちの手で観光商品を作ろう、ガイドを養成しよう、「仁淀川町の観光を考える会」を立ち上げた。今後地域の民間団体を統括するリーダー的な団体へなっていくことが期待される。 ◆既存宿泊施設のリニューアルも行われ、受け入れ体制の強化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の観光振興に対する、堅苦しいグランドデザインの作成 ・各観光情報窓口の一本化とさらなる観光情報発信力の強化及びより効果的なPRの検討 ・「仁淀川町の観光を考える会」の今後の運営・体制 ・観光ガイド養成活動の強化、ガイド内容の調査とその整理 ・ターゲットを絞った着地型観光ツアーや商品化、リピーターにつなげる観光振興への取組 ・既存観光施設の運営、基盤整備(観光案内板等の不足、既存施設の老朽化)、観光団体の高齢化 ・グリーンツーリズムが效益に繋がっておらず、地場産品の販売が弱い 	<p>◆観光情報の一元化</p> <p>◆観光ガイドの養成</p> <p>◆おもてなし観光の推進</p>

修正後

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
観光情報の一元化				仁淀川町観光協会(仮称)の設立と運営	ガイド養成人数 実施ツアー数	20人 50ツアー
コーディネーターによる効果的なPRとプロモーション活動の展開・既存施設等の有効活用と機能充実						
観光ガイドの養成						
観光資源の発掘と観光素材の整理とガイド要員の増員活動の実施						
おもてなし観光の推進						
仁淀川町独自の滞在型観光ビジネスの展開(ツアー商品の確立、仁淀川町の観光団体等の情報ネットワークの強化)						
観光案内板の設置、トイレ等の改修などの実施						
地場産品開発の実施(仁淀川町のお土産品、仁淀川町の食メニューなどの開発・販売)						
観光団体等の相互サポート体制づくり						



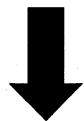
第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
観光情報の一元化				仁淀川町観光協会(仮称)の設立と運営	ガイド養成人数 実施ツアー数	20人 50ツアー
コーディネーターによる効果的なPRとプロモーション活動の展開・既存施設等の有効活用と機能充実						
観光ガイドの養成						
観光資源の発掘と観光素材の整理とガイド要員の増員活動の実施						
おもてなし観光の推進						
仁淀川町独自の滞在型観光ビジネスの展開(ツアー商品の確立、仁淀川町の観光団体等の情報ネットワークの強化)						
観光案内板の設置、既存施設の改修を含めた老朽化対策等の実施						
地場産品開発の実施(仁淀川町のお土産品、仁淀川町の食メニューなどの開発・販売)						
観光団体等の相互サポート体制づくり						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
36 直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化 《日高村》	直販市「さんさん市」を拠点として整備し、周辺の観光資源と連携した活用を図ることで、日下川調整池周辺での観光振興につなげる。	・日高村	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大のための条件整備(H21~23) <ul style="list-style-type: none"> ◆平成21年度に産業振興アドバイザーにより日高村の観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめた。その後、ボランティアガイド組織の立ち上げやガイド育成、モニターツアーの実施等、具体的な取組を進めてきたところ、日下川調整池周辺地域において、日高村の食も含めた観光客の集客を図る地域の観光情報発信拠点が必要となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農産物・農産加工品販売所の観光情報発信拠点としての機能充実 	◆直販市及び周辺の観光資源の整備

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 直販市の機能強化(生産・出荷の拡大及び観光情報発信等)による地域の活性化 《日高村》	直販市「さんさん市」を拠点として整備し、周辺の観光資源と連携した活用を図ることで、日下川調整池周辺での観光振興につなげる。	・日高村	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大のための条件整備(H21~24) <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備(H25~) ◆平成21年度に産業振興アドバイザーにより日高村の観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめた。その後、ボランティアガイド組織の立ち上げやガイド育成、モニターツアーの実施等、具体的な取組を進めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農産物・農産加工品販売所としての運営体制等の検討、観光情報発信拠点としての機能充実 	◆直販市の機能強化及び観光情報の発信

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
直販市及び周辺の観光資源の整備					体験型観光での入込客数 (H22:7,834人)	23,500人
観光情報拠点の整備	観光情報拠点の完成及び稼働					
観光情報パンフレットの作成及び啓発						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
直販市の機能強化及び観光情報の発信					施設での販売額等 (H23:59,126千円)	103,200千円
集客施設の整備、オープン	集客施設の安定した運営					
観光情報パンフレットの作成及び啓発	観光案内、情報発信					

